

## 第2号議案 2010年度事業計画(案)について

近年、少子化・大学全入の時代に突入し、私立大学のみならず大学に附置される図書館の運営には、厳しいものがあります。それに拍車をかけるのが図書館予算の削減、雑誌およびデータベースの購入費の高騰です。他方、大学を構成する学生および教職員から、また、図書館の位置する地域社会からの期待とニーズも変化しつつあり、図書館はそれに応えていかねばなりません。また、私立大学の雇用環境の急激な変化の中で、図書館員として明確な自覚をもった有意な人材の育成もけっして疎かにはできません。

以上のような状況に対し本協会は、私立大学の約9割が加盟する団体として、加盟校が協会に加盟している意義を実感できる活動を展開していくことが大きな責務であると考えます。

2010年度は、これまでの協会事業を継承しつつ、委員会活動の強化をひとつの目標に掲げ、図書館員の育成ならびに諸外国の図書館事情の調査・研究、協会ホームページ活用のための新たな方策などを含め、以下の事業計画を提案いたします。

### (1) 第71回総会・研究大会の開催

会 期：2010年9月9日（木）～10日（金）

当番校：西南学院大学

テーマ：『場』としての大学図書館 ―図書館とラーニング・コモンズ―

総会と研究大会を同時に開催する。加盟校から複数の参加者が来られるように、研究大会はテーマに沿った発表、シンポジウム等を設定し、あらゆる年齢層の参加と、館員の自覚と研鑽の動機付けができるような大会運営を行う。

### (2) 協会委員会活動の支援

#### ① 協会賞審査委員会

従来の審査基準を踏襲しつつも、従来の図書館活動に加え、時代に即した新たな分野・業績を積極的に採択する。審査対象期間についても、当該年度に加え過去3年間に拡大されたことを周知徹底し、各図書館の業績・成果を顕彰する。

#### ② 研究助成委員会

大学図書館の管理運営、図書館技術、利用・奉仕、基礎的研究等の各分野での募集を行う。加えて、課題研究ならびに新設された海外図書館事情調査への積極的な参加を要請し、協会全体の研究活動ならびに個々の図書館員のレベルアップを支援する。

#### ③ 国際図書館協力委員会

従来からの事業項目を継承しつつ、事業のさらなる充実を目指す。

- ア) 海外寄贈資料搬送事業の実施
- イ) 国際図書館協力シンポジウム
- ウ) 海外集合研修の実施
- エ) 海外派遣研修の実施
- オ) 海外認定研修の試行的実施

④ 協会ホームページ委員会

会員同士の情報の共有化を図り、本協会活動の情報、研究成果の受発信の場として機能する事を目指して、電子掲示板の試験的運用を行なうなど協会ホームページの改善に取り組む。

**(3) 他機関との連携・協力**

種々の関連団体・企業等との協力を図る。特に、国公立大学図書館協力委員会、国立情報学研究所等との連携・協力を推進する。

**(4) 会報（第134号～第135号）の刊行**

担 当：名古屋外国語大学・名古屋学芸大学

**(5) 東西地区部会活動の推進**

加盟校の直接的な活動の場であるそれぞれの地区部会活動・研究会活動の推進が、協会事業推進に繋がるという観点から下記事業の実施推進を図る。

- ① 東地区部会総会、研究分科会報告大会、研修会の開催
- ② 東地区分科会活動の見直しと活性化
- ③ 西地区部会総会、研究大会の開催
- ④ 西地区部会、各地区協議会における総会、研究会等研修事業並びに相互協力事業の推進

**(6) 組織の拡大（加盟校の拡大）**

新設校を含め未加盟校への勧誘を継続する。

**(7) 情報の共有化**

協会関連団体等から発信される情報をリアルタイムに協会加盟校に伝達するとともに、本協会からも様々な情報を外部に向かって発信し、双方向での情報受発信の場を創造するために、協会ホームページの積極的な活用を推進する。

<参考> 2009年度事業計画

(1) 第70回総会・研究大会の開催

会 期：2009年8月27日（木）～28日（金）

当 番 校：佛教大学

テ ー マ：「情報ポータルとしてのハイブリッド大学図書館」

(2) 協会委員会活動の支援

(3) 他機関との連携・協力

(4) 会報（第132号～第133号）の刊行

(5) 東西地区部会活動の推進

① 東地区部会総会、研究分科会報告大会、研修会の開催

② 東地区分科会活動の見直しと活性化

③ 西地区部会総会、研究大会の開催。

④ 西地区部会、各地区協議会におけ総会、研究会等研修事業並びに相互協力事業の推進

(6) 組織の拡大（加盟校の拡大）

(7) 加盟図書館名簿の発行

(8) 情報の共有化